

《Labor Communication 2016・5》

4月に熊本で大地震が起きました。地震と聞くとやはり肌で感じた阪神淡路大震災を思い出します。先日、神戸の方と地震の話をしました。家は全壊し、すぐに停電。怖かったのは、電気が通ったときにどこからか漏電したらしく火災が発生。今でも寝るときには、枕元に携帯電話と靴をおいているそうです。地震当時、私の住んでいる京都は震度5でした。しばらくして洗濯機の排水がうまくいかず壊れたのだらうと買い換えたところ、新しい洗濯機でも排水できず水が逆流！なんと配水管がずれていたそうです。ヒビ割れたり、破損している箇所は目につきますが、配管や漏電など目に見えない地震の影響も、今後懸念されます。（小野山真由美）

**28年度
年金機構の計画**

★「社会保険の調査」より厳格に！

平成28年度の日本年金機構の計画が発表されました。特に注目すべきが「適正化」に対し、具体的かつ厳格に実施する姿勢が見られます。適正化とは、国民年金等の未納者といった保険料を正しく納めていない場合への対応と、社会保険に加入すべき事業所の洗い出しや資格喪失や月額変更の提出期日が遅れた場合の実態を証明する添付書類の提出等です。「法人」は社会保険の強制加入の対象です。法人登記はされていても社会保険へ加入していない事業所には、いま問合わせの書類が届いています。昨年の方針ではそういった事業所のアンケート等の未提出があった場合、書類での督促でしたが、今年の方針では「最終催告状」を送付し、それでも応じない場合は立ち入り検査を行うとされています。法律では年金事務所の職員は立ち入り検査ができるとされています。4年に1度は調査をすると宣言してからちょうど4年目にあたります。これまで調査のきていなかった事業所様には連絡が入るかもしれませんが、郵便物には注意しましょう。

**採用のときの
適性検査**

★「面接」は広告のチャンス、「教育」は採用から始まる！

最近、募集してもなかなか応募がないという悩みをよく耳にします。ハローワークや求人誌、折込チラシ、インターネットなど求人方法は以前から比べると増えていますが、なぜか人が集まらない。転職サイトを見ると高卒で約4割の人が3年で離職しているそうです。企業の規模ごとにもみると社員5人未満の離職率が一番高いそうです。そこで提案！ 面接の際は、企業のPRも忘れずに。たとえ面接で不採用になっても「いい会社」という印象や、飲食店であれば食べにいきたいとおもってもらえる工夫を。また、採用する場合も面接に加え、「適性検査」や漢字や時事テストをすることで、ひとつハードルを越えて入社したという思いを抱いてもらえる工夫も大切です。そしてなによりも人材は育成するもの。採用はしたけど研修もそこそこになると、なかなか人は成長しません。採用の際の適性検査や新人の研修に関しては、当事務所にご相談ください。



あすは社労士事務所

〒530-0047 大阪市北区西天満 2-6-8 堂島ビルディング814
電話.06-6948-5252 FAX.06-6948-5253

社会保険労務士 佐々木 香里 社会保険労務士 小野山 英男 特定社会保険労務士 小野山 真由美

★気温がぐんぐん上り始める5月！ 熱中症の予防を始めましょう！